



「シンギュラリティは怖くない」と題して講演する中西崇文准教授＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

AI研究実例を紹介

東信経済倶楽部が講演会

多治見市

東濃信用金庫の取引先企業でつくる東信経済倶楽部は18日、講演会を多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開いた。武蔵野大の中西崇文准教授が「シンギュラリティは怖くない」と題して人工知能について考えよう」と題して講演した。

中西准教授は人工知能が進化し、2045年には人類が予測できない域に達するという仮説や人工知能の歴史、研究の実例を紹介。「実はシンギュラリティはもう来ている。これからはAIを怖がら

ずにどんどん使ってほしい。AIを利用していく力が重要になる」と語った。

(野中準二)